

「高校生にすすめたい本 2020」 投票結果発表！



県内の学校（高校・特別支援校）で行われた投票の結果、

みんなが「いちばん読みたいと思う本」に選ばれたのはこちらの本です！



『インスタ映えする戦国時代』 (スエヒロ／大和書房)



もしも戦国時代にスマホがあったなら、ザビエルはインスタをやっていた？ 桶狭間の戦いの LINE グループが存在した？ など戦国時代のできごとが身近なものに置き換えて紹介されています。歴史が苦手なあなたも是非。
(パンフレットの推薦コメントより)



『10代のための疲れた心がラクになる本』 (長沼睦雄／誠文堂新光社)



「人間関係の悩みが尽きない」「いろいろなことが気になりすぎて疲れてしまう」そんなあなたは5人に1人はいると言われる「超敏感気質」なのかもしれません。傷つきやすくてしんどい今のあなた自身を新しい視点で見つめてみませんか。
(パンフレットの推薦コメントより)



『多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。』 (Jam／サンクチュアリ出版)



「小さなことで悩んでしまう」「ワガママな人に振り回される」…人生は本当に、モヤモヤの連続です。この本には、そんなときに嫌な気持ちを引きずらないための考え方のコツが書かれています。読むと気持ちが楽になり、新たな一歩を踏み出せますよ。
(パンフレットの推薦コメントより)

本は図書館で
展示中です。
ぜひ手に取って
みてください！



リニューアル！

「先生からの推薦図書」コーナー

もう気がついた人もいるでしょうか？ 図書館入ってすぐ右側の「先生からの推薦図書」コーナーが新しくなりました。西高図書館報 28 号掲載の先生の推し本が揃っています。気になるあの先生のおすすめをチェック！



「本屋大賞 2021」ノミネート作発表！

「全国の書店員が選んだ“一番売りたい本”」、本屋大賞のノミネート作品 10 作が発表されました。『逆ソクラテス』伊坂幸太郎／著、『オルタネート』加藤シゲアキ／著など、本校図書館でも人気の作品がノミネート。図書館入口でミニ展示中です。



探しています！

冬休み中の蔵書点検作業の結果、下記の本が行方不明になっています。心当たりのある人は、図書館までお知らせください。

書名	著者	出版者	出版年	請求記号
内村鑑三（講談社学術文庫）	森 有正	講談社	1988	198-モ
歩く台北 2014-2015	下川裕治 監修	メディアポルタ東京	2014.8	292-シ
るるぶ台北(Taipei)'16		JTB パブリッシング	2015.6	292-ル
どうしていじめなの？	小見／祐子 監修	インタープレス	2008.12	371-オ
ことば遊びの楽しみ	阿刀田高 著	岩波書店	2006.5	807-ア
心を揺さぶる語り方	一龍斎貞水 著	日本放送出版協会	2007.8	809-イ
NICE TALKING WITH YOU	ケニー・トム	マクミランランゲージハウス	2000	837-ケ
NATIONAL GEOGRAPHIC 19-3		日経ナショナルジオグラフィック社	2013.3	

新着図書 ピックアップ

『凧の弦音』我孫子武丸／著（光文社）



高校で弓道に打ち込む凧。恩師の道場で起きた事件を解決したことから、「天才少女」とネットで取り上げられ……。部活モノの中でも珍しい弓道部を題材にした青春ミステリー。臨場感のある弓道シーンも見どころです！

『SNS 暴力』毎日新聞取材班／著（毎日新聞出版）



2000年代後半以降急速に普及した SNS は、社会的なネットワークを作るという役割を離れて、匿名の言葉の暴力が振るわれる場に変貌している。言葉の暴力の連鎖はどうすれば止められるのか。実際の事例から SNS の功罪を検証し、未来のあり方を探る一冊。

『ブローケン・ブリテンに聞け』ブレイディみかこ／著（講談社）



世界中を驚かせた EU の離脱、広がる格差……。英国に何が起きているのか？「ぼくはイエローでホワイトで、時々ブルー」の著者が英国社会の現在を描くエッセイ。

『マナーはいらない』三浦しをん／著（集英社）



基本的な人稱から、タイトルのつけ方、取材方法など小説を書く人・書きたい人へ送るアドバイス。駅伝小説『風が強く吹いている』の手書き設定・構想メモも公開。三浦しをんファンも必読です！

『続 多分そいつ、今ごろパフェとか食ってるよ。』Jam／著（サンクチュアリ出版）



友達がいるのに寂しい……どこにも居場所がない不安な気持ちと上手に付き合う68の考え方。人気の「パフェねこ」シリーズ第2弾。

『プラスチックの現実と未来へのアイデア』高田秀重／著（東京書籍）



海洋の深刻なプラスチック汚染に対して、いま私たちにできることは何だろう？プラスチック消費の現実とこれからについて学ぶ。

『感染症時代のマスクの教科書』飯田裕貴子／著（小学館）



感染症の基礎知識から、目的に応じた正しいマスクの着け方や、マスクメーカーに聞く最新マスク事情など、これから必要な知識を押さえておこう。

『希望の一滴 中村哲、アフガン最期の言葉』中村哲／著（西日本新聞社）



アフガニスタンの復興に尽くしたベシャワール会の中村哲氏の活動を、写真と残された言葉で振り返る。新聞連載「アフガンの地で」を再編集。

『コロナと潜水服』奥田英朗／著（光文社）



古い外車を手に入れた主人公が、車に導かれて前の持ち主と縁のある人々と出会う「パンダに乗って」。工場の片隅に結成された“ファイトクラブ”。そこに突然現れたコーチの正体とは？（「ファイトクラブ」など、奥田英朗のファンタジック・ほのぼの短編集。

新着図書の一覧は、校内からは西高図書館蔵書検索のページから見られます。学校外からは、鳥取西高公式ホームページの図書館のページからご覧ください。
URL=https://cmsweb2.torikyo.ed.jp/toriw-h/index.php?page_id=43

